愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	児童家庭福祉論		
担当者(Instructors)	藤沢 真理子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

児童家庭福祉の制度や実施体制を学ぶ。今後幅広い分野で学生が活動する時に役立つ児童家庭福祉の理論と方法を身につける。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	児童家庭福祉とは	今後の講義の概要・予定と授業でのルールを理解する	□
第2回	児童家庭福祉の歴史	児童家庭福祉の歴史を学ぶ	□
第3回	児童家庭福祉という考え方	児童家庭福祉という考え方を理解する	□
第4回	子どもの権利と児童家庭福祉	子どもの権利について理解する	□
第5回	児童家庭福祉の法律と実施体制	児童家庭福祉の法体系と実施期間について学ぶ	□
第6回	児童福祉施設の体系	児童福祉施設の種類を理解し、その専門性を学ぶ	□
第7回	児童福祉施設の事例	児童養護施設について理解する	□
第8回	在宅の児童家庭福祉サービスの体系	在宅の児童家庭福祉サービスの体系を理解する	□
第9回	児童家庭福祉サービスの担い手１	児童家庭福祉サービスに関わる専門職について学ぶ	□
第10回	児童家庭福祉サービスの担い手２	民生委員児童委員と主任児童委員について理解する	□
第11回	次世代育成支援対策と子ども・子育て支援新制度	次世代育成支援と子ども・子育て支援新制度について理解する	□
第12回	児童虐待に対する支援	児童虐待の防止策や支援方法について学ぶ	□
第13回	ひとり親家庭、女性への福祉的支援	ひとり親家庭の支援や女性への福祉的支援について理解する	□
第14回	児童家庭福祉のまとめ	児童家庭福祉の知識をまとめる	□
第15回	児童家庭福祉の課題	児童家庭福祉の課題を理解する	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、テキストから次回の講義内容に関連する箇所を指定し、当日までに2時間程度の学習（読んで要約）を課す。事後学習として、講義の復習をするとともに、課題レポートを2時間程度でまとめることを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポートは、まとめて翌週フィードバックし全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	児童家庭福祉に関する専門的知識と実践的能力を身につけている
思考力・判断力・表現力	◇ 2019人間健康DP2	児童家庭福祉分野における問題意識を持ち解決方策を探求できる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			84%	16%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	よくわかる社会福祉　第11版	978-4-623-07676-5
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜授業で紹介	
2		
3		
4		
5		